

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



Rotary
District 2790

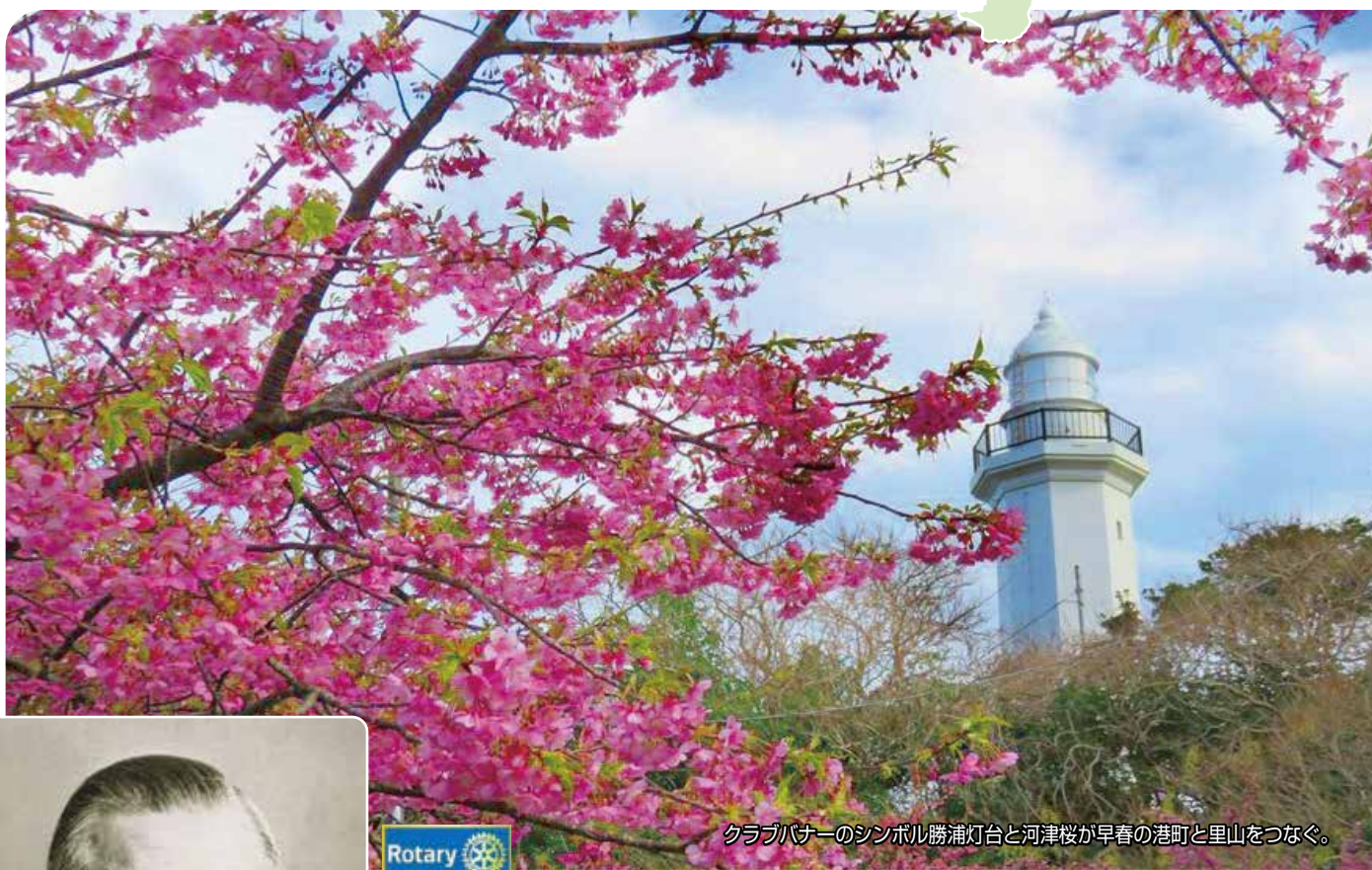
2021
February

2

ガバナー月信
Vol. 8

Copy for members

To Club Presidents and Secretaries in District 2790(CHIBA)



クラブバナーのシンボル勝浦灯台と河津桜が早春の港町と里山をつなぐ。



日本のロータリー 100 周年

東ヶ崎 潔 (1895 ~ 1992)

日本から出た初の RI 会長 (1968-69 年度)。

会長時のテーマは「参加し敢行しよう! (PARTICIPATE !!)」。

1949 年、東京 RC に入会。1957-58 年度第 355 地区ガバナー、1963-64 年度 RI 理事。米国サンフランシスコ生まれの彼は、戦後、ロータリーの先達者・芝染太郎氏と同じく、Japan Times 社長を務めました。国際基督教大学の創始者の一人でもあります。「ジョージ」という名で、世界中のロータリアンに親しまれました。

国際ロータリー第2790地区 ガバナー 漆原 摂子

地区スローガン「クラブが主役となり、奉仕の理念の実践を！」

ロータリー特別月間／平和構築と紛争予防月間



ロータリーは機会の扉を開く

平和構築と紛争予防月間によせて

国際ロータリー第 2790 地区

2020-21 年度 ガバナー 漆原 摂子 (勝浦 RC)

ガバナー公式訪問を終えて

昨年 7 月 23 日よりスタートしたガバナー公式訪問では、会長幹事懇談会をはじめ例会そしてクラブ協議会と、クラブ会長幹事様をはじめ会員の皆様との交流が叶いましたことに、大変嬉しく思っております。また公式訪問の段取りをいただきました担当ガバナー補佐の皆様にも、御礼申し上げる次第です。

公式訪問を通じて感じた事は、コロナ禍による当面のクラブ運営、及び活動に皆様が苦勞されていることは元より、多くのクラブが、会員減少、会員研修強化等の会員基盤向上、及び活動内容充実等々のクラブ運営・活動の基本に関わる問題を抱えていることです。これらクラブが抱える長年の課題改善には、ガバナー補佐が主体となり、ガバナー等と緊密な連携の下にクラブに寄り添い、かつ、クラブと一緒に中長期的観点から課題解決、活動の活性化に取り組むのが DLP 導入の目的の 1 つです。皆様には、ガバナー公式訪問を通じて今般のグループ再編成の目的、意義等につきご理解を頂くべくご説明してまいったつもりですが、グループ内クラブ数及び会員数の平準化、及びグループ数の削減を基に、ガバナー補佐が更に効果的なクラブサポートを実践するための今般のグループ再編成につき、改めてご理解をお願い申し上げます。

ロータリーの未来形成 (Shaping Rotary's Future = SRF)

昨年 12 月、辰野克彦 RI 理事招集のもと、ロータリーの未来形成に関する報告及び意見交換会がオンラインにて開催されました。2018 年 7 月に、バリー・ラシン元 RI 会長を委員長として発足したロータリー未来形成委員会（略して SRF 委員会）において検討されてきたそうです。この委員会の存在もこれまで極秘でしたが、つい最近公開に踏み切り、今般の計画報告となったようです。

計画の内容は？

計画の内容は下記の通りです。

- ① 現在世界に存在する 34 ゾーンはそのままに、言語や文化等によって地域（リージョン）の区分けを導入、日本は全体で 1 つの地域となる。
- ② ロータリアンと同等の地位となるローターアクトクラブを加え、日本国内を 102 のセクションのクラブ群に分割する。
- ③ ①を統括する地域カウンスルを 1 名、クラブの選挙で選出、その任期は 3 年。また②のセクションを統括するセクションリーダーを設置し、その任期は 2 年。つまり地区及びガバナー制度を廃止し、その代わりに上記の体制を設けるという事です。

2022 年規定審議会に上程

組織規程の変更となりますので、RI 理事会は 2022 年規定審議会に制定案として提出を予定、その投票結果が注視されます。もし採択となった場合でも、一定期間パイロット地区によるテスト運用を実施し、正式に全世界に導入されるのは 10 年後の 2030 年と聞いております。なぜこのような体制に変更するのか、またその効果、人頭分担金などはどうなるのか等々、現時点 (2020 年 12 月) では情報が不足しております、今後の RI からの発信に着目してゆきたいと考えます。

平和の推進にむけて

さて今月は平和構築と紛争予防月間、少々スケールの大きい月間タイトルです。私達が平和の推進にむけて出来ることを考えると、例えば 6 つの重点分野に即した活動を実践することで、平和な社会の環境整備に繋がりますし、或はポリオワクチン接種のための、紛争地域における人道的停戦の交渉などが挙げられます。

ロータリー平和フェローシップ

ロータリー平和フェローシップは、ロータリー財団の奨学金プログラムの一つです。ロータリーが提携する世界の 7 ケ所 8 大学内に、ロータリー平和センターが設置されており、そのうちの 1 つが日本の国際基督教大学です。これらのセンターで学ぶ学生＝ロータリー平和フェローを選考・奨学金を授与し、平和な社会実現のための未来のリーダーを育成することが目的です。本年度には、ウガンダのマケレレ大学に、アフリカ初の新たなセンターがオープンしました。

ロータリー平和フェローへの期待

卒業後の進路は、国連をはじめ各国政府機関や国際非政府組織などで、平和と紛争解決のために活躍しています。今年は当地区でも、国際基督教大学に通う 3 名のフェローを、船橋みなと・柏・千葉西 RC 様がそれぞれ推薦クラブとなり、お世話いただいております事には深く感謝申し上げます。また、このプログラムを全国各地で周知する事を目的とした、広報アンバサダーという要職には、プログラムに対する永年のご尽力とご功績により、当地区の山崎敬生様（市川 RC 所属）が選出、就任されております。争いのない世界を目指し、物心両面での平和構築リーダー育成へのご理解ご協力を、改めてお願い申し上げます。

ロータリー談義をとおして感じたこと

パストガバナー 寺嶋 哲生 (柏 RC)



国際ロータリー定款第4条には、「ロータリーの目的」として「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある」と定められております。

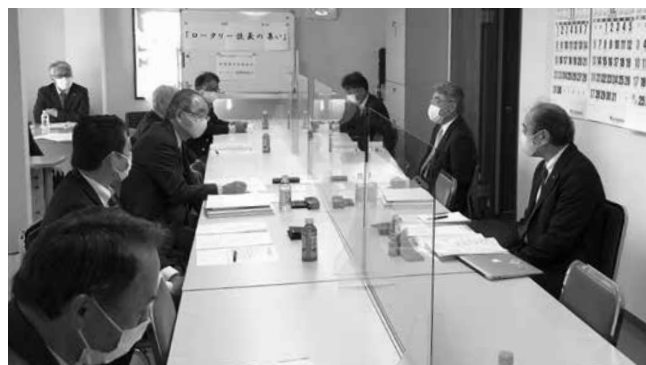
直近の規定審議会において我が2790地区から提案された決議案においては、この「事業」を表現する「enterprise」という単語は、職業に限定される「business」ではなく、我々のあらゆる行為を包括する「活動」、すなわち「activity」に相当する概念であるとする解釈が多く支持を得ております。

一方「奉仕の理念」を端的に表す文章としては、「公式名簿 (Official Directory)」に記載される初代事務総長チェスリー・ペリーの言葉「Thoughtfulness of and helpfulness to others」、すなわち「他人を思いやり、他人の助けになること」が知られております。つまり我々ロータリアンとは、「自らが行うあらゆる行為において、常に他者を思いやる心をもつ」、

そんな人達であると思います。

ハートフルな仲間を得る為に入会し、ハートフルな仲間なればこそ安心して交流し、ハートフルな仲間同士が互いに切磋琢磨する。

今回の「ロータリー談義の集い」は、ロータリーとはそんな場である事を改めて実感した時間でした。



第5回「ロータリー談義」報告

パストガバナー 櫻木 英一郎 (千葉 RC)



談義の冒頭に約20分ほど「私のクラブから私のロータリーへ」というテーマで話をする時間を頂きました。クラブ会長年度の終盤に青天の霹靂のガバナーノミニの打診を受け、何度も断ったが「地区が困った時の為の地区の元祖クラブだ。その責任は会長が取るべし」という不可思議な説得により、「3年後のガバナーならお受けします」と答えざるを得なかった事。それがいつの間にか2年後にすり替えられて、地区の知識が全くない私もクラブも大いに慌てた事をお話ししました。

また、エレクトになって地区の中核の会議に出ると、それまで5～6年の国際ロータリー関係の勉強で得た知見やロータリー観と大いに違うので面食らったことなどを差障りのない範囲で話が出来たと思います。

食事の後は海寶さんのリードで皆さんからの自由意見。色々な意見を聞く事が出来ましたが、中でも一番印象に残ったのは、「地区の情報がクラブに浸透していない」という意見です。これの弊害は非常に大きく、現在地区内を揺るがしている問題もそこに原因があると思います。これはクラブ側も地区側も猛省すべきであり、双方が真剣になってその解決

策を検討する必要があると感じました。最後にまた時間を頂いて、グループ再編成、ガバナー補佐の決定方法の変更などに関した現在の地区の問題の背景や経緯を少々お話しさせて頂きました。主催側のご配慮、海寶さんの良いリード、皆さんの熱心な参加などにより2時間が非常に短く感じました。この企画は回数を増やし、出来ればもう少し時間を取り、また次年度にも継承して是非続けて頂きたいと強く感じました。



RMCC 秋のツーリング報告

～ホテルブルーベリーヒル勝浦にガバナーを訪ねた一日～

ROTARY INTERNATIONAL



Rotary Motor Cycle Club of 2790
JAPAN

房総の紅葉が美しい秋の一日、市原 SA には県内各地から続々と大型バイクが、又、ポルシェやロータスもロータリー旗の下に集まって来た。去る11月21日快晴の土曜日、総勢17台20名の会員が集い、RMCC 秋のツーリングが開催された。



コロナ禍で中々走れなかった会員ライダーは、並木会長の挨拶と増谷事務局長の連絡注意もうわの空のように勇んでエンジンを吹かす。どうどう、逸る心を抑え、ロータリー精神に則って模範となる安全運転を心がけ、養老溪谷の紅葉を楽しみながら房総のワインディングを勝浦に向かう。

トンネルを抜けるとそこは雪国、ではなく、天国のようなホテルブルーベリーヒル勝浦が待っていた。ホテルのエントランスには、豪華にも漆原ガバナーを初め勝浦 RC の皆さんが出迎えて下さり、感謝感激、パーキングにバイクを整列させると、挨拶も早々に、ツーリングの道中話とバイク談議に華を咲かせ、久し振りのメンバー同士、又、勝浦ロータリーの皆さんとの交流を深めた。流石、乗馬の達人と言われる漆原ガバナーは颯爽とハーレーに跨り、これが又実に決まっていた。



きりがないの
で、さあさあ、美味しいランチですよ、とレストランに招かれる。眼前には20万坪の芝生広場が拡がり、その先には太平洋の大海原が横たわる、日本とは思えない素晴らしい景色が目を楽しませてくれた。やがて美味しそうな香りが立ち込め、お昼には豪華すぎるステーキランチがテーブルに運ばれた。今日の道中の感想、バイク談議、会えなかった数カ月の出来事、各クラブのコロナ禍での活動状況など、

美味しいランチを頂きながら話題は尽きない。

薫り高い珈琲を頂いた後、なんと、地区運営に多用な漆原ガバナー自らがこの広大な施設を案内してくれるという。恐縮しながらも楽しい遠足気分、芝生広場を歩き始めた。景観に配慮したホテル棟、研修棟、屋内運動場、テニスコートにサッカー場、更に大型の厩舎や屋内訓練馬場も備え整備された広い馬場を案内して頂いた。



楽しい時間は矢の如し、別れを惜しみながら、海沿いの房総路を一宮に向かい、夕陽の美しい九十九里有料道路を経由して無事に帰路に着いた。

今回のオフィシャルイベント秋のツーリングは、漆原ガバナーを訪ねて紅葉のワインディングを楽しみ、美味しいランチを頂き、ブルーベリーヒル勝浦の景観を堪能した素敵なイベントであった。又、コロナ禍で中々会うこともできない友人達との交流、勝浦ロータリークラブの皆さんの温かいおもてなしなど、大変実のあるイベントであった。漆原ガバナーと勝浦ロータリークラブの皆さんに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



2020-21 年度地区野球リーグ意見交換会&交流会報告

フェローシップ親睦活動委員長 野城 隆憲 (千葉西 RC)



2020 年 11 月 27 日ホテルザ・マンハッタンに於いて、地区野球リーグ意見交換会&交流会が開催されました。例年この時期には表彰式を兼ねて納会が盛大に行われておりますが、本年度はコロナ禍のため各クラブ代表者参加での開催となりました。

出席クラブは、浦安 (3 名)・市川シビック (2 名)・千葉若潮 (3 名)・千葉西 (4 名)・成田コスモポリタン (5 名)・旭 (4 名)・千葉幕張 (4 名)・松戸西 (3 名)・茂原 (4 名) 各ロータリークラブとなります。

幹事クラブ浦安ロータリークラブ齋藤会員司会進行の下、地区野球リーグ宇佐見会長よりご挨拶及び今回の趣旨説明が行われました。



意見交換会での検討事項は以下となります。

1. 今後のルール変更の有無
(ア) 選手があつまらない場合
(イ) 平均年齢でのハンデ
(ウ) 隠しイニング
(エ) 投手シニア優遇措置
(オ) 盗塁数イニング制限
2. 地区野球リーグとして野球を通じた奉仕活動ができないか (野球教室・プロ野球観戦等)
3. 次年度幹事クラブについて

以上についてクラブごとに意見をまとめ、各クラブ代表者より発表があり多くの貴重な意見が出されました。(後日、各クラブに改正検討案についてまとめた資料が配布されました。)

今後は本日の意見を踏まえて次年度以降、地区野球リーグの発展、活性化に役立てていくと思われます。

本年度はコロナ禍のため試合が通常通り行われず順位づけも出来ない状況でしたので、次年度は早くコロナが終息し通常開催出来ることを祈念致します。

以上、ご報告とさせていただきます。

第 12 グループ 情報研修会報告



「仲間に対する思いやりを」
2020 年 11 月 28 日 (土)

ガバナー補佐
第12グループ担当

佐藤 正直 (四街道 RC)

2020-21 年度 国際ロータリー第 2790 地区 第 12 グループ情報研修会が 11 月 28 日 (土) 14:00 より、ウィシュトンホテル・ユーカリに於いて、「仲間に対する思いやりを」をテーマとして卓話講師に諸岡靖彦 国際ロータリー第 2790 地区副ガバナーをお迎えし、総勢 96 名の参加をいただき盛大に開催されました。

「ロータリーの本体は親睦と奉仕の調和の中に宿る」「親睦なくして奉仕なし 奉仕なくして親睦なし」等の貴

重なロータリー精神の反芻^{はんそう}は大切、根底には、仲間に対する思いやりが欠かせないと感じました。

また、お客様として崎山征雄パストガバナー (PDG)、同じく橋岡久太郎 PDG、山下清俊 RLI 推進委員長、清田浩義 RLI 推進委員のご臨席を賜り、崎山 PDG にはご挨拶の中でロータリーの歴史について触れていただき、研修会後半には清田様に RLI についてご紹介をいただきました。ロータリーの原点から最新のロータリー情報まで学ぶことができ、大変意義のある研修会とすることができました。



「奉仕セミナー」開催報告

職業・社会・国際奉仕統括委員会

委員長 水野 晋治 (柏西RC)



年末も押し迫った12月20日職業・社会・国際奉仕統括委員会主催の「奉仕セミナー」を開催致しました。当初は9月に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の第2波を受け、開催を延期しました。

12月に入り再び感染が拡大する中、開催するか、延期、中止するか悩みましたが、Zoomを活用したオンライン配信との併用にてセミナーを開催する事にしました。参加登録を締め切った時点で会場参加者が100名近くとなり、再度Zoom参加への切り替えや、後日地区ホームページにて発表資料を公開する事などを告知し、会場参加をできる限り最小限に抑えるをお願いをしました。その結果、会場参加者は約50名、Zoom約100名の登録をいただきました。

セミナーは、漆原ガバナー、梶原ガバナーエレクトからのご挨拶に始まり、職業・社会・国際奉仕統括委員長水野による開催趣旨や委員会の活動方針等を説明。職業奉仕高橋潤一委員長による発表では、職業奉仕についての解説や、ロータリー行動グループの活用について説明しました。次に社会奉仕大野雅章委員長による地区補助金を使ったプロジェクトやプロジェクト立案について、他地区での災害時の取り組みなどについての発表をしました。次に国際奉仕高田新也委員長により国際奉仕プロジェクトの立案について、千葉南RC

の元米山奨学生との共同による中国大連での障がい者施設支援プロジェクトの事例紹介や、ロータリー行動グループの活用方法などについて具体的な事例を基に発表しました。

続いて、ロータリー財団より補助金プロジェクト小委員会浅野肇委員長による地区補助金活用についての説明をいただき、地区補助金を使った事例発表として、社会奉仕は八千代中央RCによる市内病院の小児病棟の子供たちを支援する「希望のプロジェクト」について発表していただきました。続いて千葉RCより子供の貧困対策に向けて「～フードバンクプロジェクト～」の事例発表。最後に国際奉仕の事例発表として柏南RCより2019-20年度のケニアでの子供たちへの教育支援、2020-21年度同じくケニアでの診療施設のリノベーション及び出産医療機能の整備事業の発表をしていただきました。

当日Zoomにて参加いただいた方々や、参加できなかった方々向け地区ホームページに当日の発表資料を公開しております。ぜひご覧下さい。

地区ホームページ→委員会→職業・社会・国際奉仕統括委員会をご参照下さい。

(https://www.rid2790.jp/2020/iinkai/s_houshitoukatu.html)



青少年奉仕・青少年育成セミナー 開催報告

青少年奉仕・青少年育成委員会 統括委員長 中澤 良夫（四街道RC）



11月28日(土) 14時～16時30分まで、千葉市文化センターにて開催致しました。

年度ははじめからコロナ禍により青少年プログラムが例年通りに行えず関係各委員会も困っている状況下であり、何か出来ることがあるのか模索しておりました。

そんな折、青木貞雄地区研修リーダーの助言もいただき9月に関係委員会にて会議し年内には開催しようとなりました。

開催の趣旨はより多くのクラブに青少年プログラムを知っていただき参加してもらう事です。

地区内82クラブのうち、インターアクト提唱クラブは14、ローターアクト提唱クラブは8です。

積極的に青少年交換に推薦していただいているクラブは5～8、RYLAセミナーは40程でしょうか。

できることなら全てのクラブに青少年プログラムへ参加いただければと思います。

セミナーはウェブと会場を併用、ハイブリッド形式としました。

予定日の10日程前になってコロナ感染拡大の報道があり、直前でしたが来場予定の方々にも出来る限りウェブ参加にさせていただけるよう連絡、コロナ対策のため100名入る会場に20名、ウェブ参加40名程となりました。

ました。

漆原摂子ガバナーには会場にて挨拶いただき、青木地区研修リーダーにはウェブ上より挨拶いただきました。

インターアクト委員会、ローターアクト委員会、青少年交換委員会、RYLA委員会、学友連絡委員会はそれぞれにパワーポイント、動画等を使用してわかりやすい内容としてくれました。

更にローターアクター3名、ROTEX（青少年交換経験者）1名にも体験談をいただきました。

これを機に、一つでも多くのクラブが青少年プログラムを取り入れて頂けるようお願いしております。

開催にあたりご尽力頂いた皆様に感謝申し上げます。



ロータリー希望の風奨学金とは？

あの震災からまもなく10年目を迎えます。

東日本大震災後に当時のガバナー会はガバナー会規約に基づく東日本大震災検討委員会を立ち上げました。この委員会の委員長は第2790地区銚子RC所属、当時ガバナーの故・織田吉郎PDGです。織田PDGは、皆様が寄せて下さった義援金をロータリーらしい支援に使おうと①公正であること、②建設的であること、③温かくこころ寄り添わせることができること、という3つのチェックポイントを設け、災害遺児への教育環境支援を打ち出しました。これは個人でもクラブ単位でも、地区単位でも主体的に参加できるプログラムとする為、『ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会』を設け、支援金の管理を含め全面的にサポートする体制を整えた上で『ロータリー希望の風奨学金』を立ち上げました。震災によって、両親もしくは片親を亡くした被災遺児で大学（短期を含む）、専門学校に学ぶ者に対し、入学から卒業まで毎月5万円を給付し、返還義務のない奨学金制度です。この教育環境支援に10地区が賛同し、奨学金事業がスタートしました。当時の織田PDGは、自ら最前線の窓口申請受付の担当もされました。

最新の『風の便り』によると2020年12月現在の奨学生は157名、奨学金給付延べ人数は476名です。震災当時0歳の子であれば最低22年間続くプログラム

となり、まだまだ長い道のりです。10地区の賛同から始まった事業ですが、現在日本の34地区中、26地区の支援を受けています。昨年2019-20年度、第2790地区からは1,422,370円のご支援を頂きました。そして織田PDGご逝去後も、悦子令夫人から毎年継続してご支援を賜っている事は、感謝という言葉では言い尽くせません。今年度は、コロナ禍によりクラブ例会はじめ、各種行事などの開催にもご苦勞されている事かと思いますが、ロータリーには長期にわたる多くのプログラムがあります。次年度、次々年度へと引き続きのご支援をお願い致します。

文責：地区幹事長 吉田理愛

支援口座（口座名義）
千葉銀行 銚子支店 普通 3549340
ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会



クリンギンスミス会長と故織田吉郎PDG・悦子令夫人（国際大会にて）

ロータリー学友会忘年会 開催報告

ロータリー学友連絡小委員会 委員長 井上 大輔（習志野中央RC）



11月28日に三井ガーデンホテル千葉において、学友会忘年会が開催されたことをご報告させていただきます。

本来であれば、多くのロータリアンや、ローターアクト、財団学友会、Rotex等のロータリー学友が集まれる場として開催したかったのですが、今年度はコロナ禍での開催のため、感染予防対策のため参加者を限定して開催しました。

米山学友会のアヴァゼ会長、ナディーシャ副会長、ソロング副会長の企画・運営のおかげで、とても楽しく、充実した忘年会となりました。お力添えいただいた皆さま、本当にありがとうございました。

忘年会のプログラムでは、米山奨学生の各国の民族ダンスが披露され、まるで異国に行けたような時間を過ごすことができました。米山奨学生ならではの文化交流

になったと思います。

私どもロータリー学友連絡委員会は、米山奨学生・学友会、ローターアクト、ロータリー財団学友会、Rotex等のロータリー学友が共に活動し、多くのロータリアンの方々にロータリー学友との交流を持っていただき、また、各奨学金プログラム、青少年育成プログラムへの理解を深めていただきたいと考えております。本年度は、参加者を限定しましたが、次年度以降は多くのロータリー学友、ロータリアンが一同に集まり、交流できるイベントにできればと考えております。その際には、多くの皆さまにご参加いただければと思っております。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。



米山記念奨学会学友会 会長 Avazeh Abolfazl
(アヴァゼ アボルファス)



今年度はコロナの影響で活動が制限されてきました。BBQ大会は開催できませんでしたが、何とかして忘年会だけは開催できるようにしたいとオンライン理事会で多くの理事の意見をいただきました。もちろんこのようなご時世なので、感染予防策をしっかりと実施した上の開催でなければならないと理事会で話しました。

開催にあたり検温や消毒、会場の換気はもちろん、

参加人数を昨年度の半分に抑え、座席間に2倍の距離を保つようにしました。

参加者はロータリアン22名、米山学友会と奨学生23名、その他学友2名、計47名を招くことができました。本イベントに奨学生によるベトナム、モンゴルそしてウイグルのダンスが披露され、とても盛り上がっていました。そして、米山学友会の忘年会においてはじめてビンゴゲームを実行し、16名にプレゼントを差し上げました。

忘年会のようなイベント開催を通して、現役奨学生や学友会のメンバーとロータリアンとの絆をより深めるのは米山学友会の大事な役割だと考えています。米山学友会の会長として、今後も様々なイベントを計画し、その他学友との横のつながりを広げて活躍したいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。



叙勲・褒賞・表彰（敬称略）

旭日小綬章



榊原 義久
(市原中央 RC)

寄付者紹介（敬称略）

ロータリー財団寄付

メジャードナー



板橋 良夫
(船橋みなと RC)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



橋本 幹雄
(八千代 RC)
4 回目

米山功労者



板橋 良夫
(船橋みなと RC)
17 回目



高橋 宏一
(八街 RC)
10 回目



槍木 勝典
(八街 RC)
8 回目



網中 吉郎
(銚子東 RC)
7 回目



小川 嘉一
(八街 RC)
5 回目



杉山 正躬
(銚子東 RC)
4 回目



栗原 稔
(八千代 RC)
4 回目



内海 孝
(船橋みなと RC)
3 回目



生形 健一
(八街 RC)
3 回目



富山 保昭
(千葉幕張 RC)
1 回目

新ロータリアン（敬称略）



北島 雄太郎
(浦安ベイ RC)
OA 機器販売
9 月 1 日入会



川上 由美子
(浦安ベイ RC)
音響設備
10 月 1 日入会



泉水 宏之
(佐倉 RC)
地方銀行
12 月 2 日入会



古本 賢隆
(市原中央 RC)
地方銀行
12 月 8 日入会



新行内 聡
(成田コスモポリタン RC)
食料品卸
1 月 6 日入会



竹内 紀之
(成田コスモポリタン RC)
ホテル
1 月 6 日入会



青木 則文
(館山ベイ RC)
食品製造加工
1 月 7 日入会



馬場 千誉
(銚子 RC)
生命保険
1 月 13 日入会

第 2790 地区 三大セミナーのご案内

新型コロナウイルス感染症拡大及び緊急事態宣言の発令に伴い、例年第 2790 地区で開催しております三大セミナー（地区チーム研修セミナー / 会長エレクト研修セミナー / 地区研修・協議会）の開催につきまして、下記の通り決定いたしました。

- 地区チーム研修セミナー (DTTS) ガバナー補佐・委員長会議に変更
- 会長エレクト研修セミナー (PETS) 3 月 27 日（土） 動画配信
- 地区研修・協議会 (DTA) 4 月 25 日（日） 検討中

決定次第ご案内します。

また、今後の新型コロナウイルス感染症拡大及び緊急事態宣言の状況によりまして、更なる変更の可能性がございます。ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解いただきますようよろしくお願い申し上げます。

ロータリー青少年交換 帰国報告会



青少年交換小委員会
委員長 田村 隆治 (八千代 RC)

本年度の青少年交換帰国報告会は11月22日、千葉市文化センターにて諸岡パストガバナーをはじめとする多くのご来賓及びスポンサークラブの方々ご臨席のもと、4名の長期交換学生からのプレゼンテーション形式で開催させていただきました。

昨年度留学をした学生は新型コロナウイルス感染症が全世界的に蔓延したことにより、学校にも行けず、さらには外出規制等もあり大変な苦勞をされました。4名の長期交換学生の内訳は3名の日本人帰国学生、そして、アメリカから来日し、その後日本の大学に進学した来日学生1名です。

スポンサークラブ	ホストクラブ
八千代ロータリークラブ 交換留学生：稲山 そら	→ Ventura-East ロータリークラブ USA カリフォルニア州
浦安ロータリークラブ 交換留学生：深作 シャンティ	→ Vista High Noon ロータリークラブ USA カリフォルニア州
勝浦ロータリークラブ 交換留学生：三上 亜彩	→ Lowcountry Beaufort ロータリークラブ USA サウスカロライナ州
Santa Monica ロータリークラブ USA カリフォルニア州 交換留学生：Indio MULHOLLAND	→ 八千代ロータリークラブ

派遣先で多くの交流を物語るたくさんのバッジを付けたブレザーを身に着けた姿は帰国学生の証であります。それぞれがその個性を生かし素晴らしいプレゼンテーションでした。現地での言語、食生活、文化をはじめ、ホストファミリーのこと、学校のこと、ロータリアン及び留学生同志の交流のことなど、様々な経験を話してくれました。

◆ 違う文化に馴染もうとしていく過程の中で、また様々な個性の人に会ったことで新しい自分に気づくことができました。また今回の留学経験を通して、自分に自信がつけました。この経験と知識を生かして、次の代のサポートや海外との交流を深めることに挑戦していきたいと思います。

◆ 自分の中での当たり前が、気づかぬうちに偏見に変わって、それが広がれば差別につながります。どんな事においても自分との違いは存在して、人それぞれ違うのが当然だと思っている今、宗教・文化・恋愛対象など個人個人で違うということを少しずつ受け入れられる人になれた1年間だと思います。留

学中辛いこともたくさんありました。でもそのぶん成長しました。

◆ 文化の違い、個性、自分の個性とは何だろうと改めて考えるきっかけになりました。何事も自分次第だということ。自分の行動次第で良くも悪くも変わるといことです。この留学を通して目標ができ、世界平和に貢献したいと思うようになりました。

◆ 留学が心配だったけど、心配しても仕方ないし、「何とかなる」、「何でも試す価値がある」という気持ちが大切。留学中の感想は、楽しかった、本当に楽しかった。この一言に尽きます。

会場には今年の夏に派遣予定の7名の学生も聴講しておりましたが、新型コロナウイルス感染症による、国際ロータリー理事会のロータリー青少年交換休止の連絡を受け、協議を重ねた結果、2021年の夏の派遣及び受入れの双方とも中止することを決定しました。これまで、様々な対応と準備を重ねてこられた関係者各位におかれましては、大変残念な結果となり本当に申し訳なく思います。只々、皆様の健康と安全を第一に考えた末の決定でございます。どうかご理解賜りますようお願い申し上げます。

今後もロータリー青少年交換は続きます。本事業は青少年の成長を目の当たりにしこの上ない喜びを感じ取れる事業です。多くのロータリアンが青少年事業に関わり、共に成長していくよう心から祈念し、報告とさせていただきます。



ロータリー学友による被災地復興チャリティーコンサート

ロータリー学友と繋がり、未来の青少年を育てよう！

ご挨拶

コロナ禍において、様々な活動に制限があるかと思いますが、ロータリー学友による被災地復興チャリティーコンサートを開催させていただきます。日本と国際的な文化、音楽を楽しんでいただければと思っています。コンサートの目的は大きく2つあります。1つ目が、今回のコンサートは出演者・運営スタッフはロータリー学友（ローターアクト、米山学友、ロータリー財団学友、Rotex）に協力いただき、全員で手作りしてきました。2790 地区が育成してこられた素晴らしいロータリー学友の方々を知っていただき、ロータリーの青少年奉仕の意義を感じていただければと思っています。2つ目が、2011年3月11日の東日本大震災から、10年の節目を迎えます。私たちに求められているのは、震災を風化させないこと、被災者に心を寄せることだと思います。今回の収益金を東日本大震災の被災遺児のための希望の風奨学金に寄付させていただきます。最後に、一人でも多くの方々にチャリティーコンサートへご参加いただき、素晴らしい時間を共有できればと思っております。皆様のご理解とご支援を宜しくお願い申し上げます。

国際ロータリー第2790地区 ロータリー学友連絡委員会 委員長 井上大輔（習志野中央ロータリークラブ）



出演予定者



樫 拓也

佐倉中央 RAC



ヒャンバー

米山奨学生



フォン

米山奨学生



中井 未来



久我 理亜

元R希望の風奨学生



田村 彰子

元R財団奨学生



柴田 晶子

開催概要

日 時：3/21（日）
開 場：15:30 開 演：16:00（公演時間は約2時間を予定）
会 場：プラッツ習志野 習志野市民ホール
<https://narashino-future.jp>
定 員：会場定員の半分 150 名まで登録先着順
オンライン：制限なし
登録方法：インターネット事前登録（別途ご案内申し上げます）
登録費：ロータリアンお一人様
（チャリティー）
3,000 円以上でお願いいたします。
ロータリー学友 無料
お振込先：千葉銀行 習志野台支店 普通 4039601
口座名 ロータリー学友連絡小委員会
主 催：ロータリー学友連絡委員会
協 力：青少年奉仕・青少年育成委員会
米山記念奨学会学友会
ロータリー財団学友会・ローターアクト
Rotex・ロータリー学友連絡協議会
リアル会場とオンライン配信（Zoom）のどちらでも参加いただけます。

プログラム

16:00 第1部
和太鼓
樫 拓也（佐倉中央ローターアクトクラブ）
主催者挨拶
民族舞踊
ヒャンバー（米山奨学生）モンゴル伝統舞踊
フォン（米山奨学生）ベトナム伝統舞踊
フラメンコギター
中井未来（習志野中央RC会員ご家族）
アコースティックギター【フランスからリモート出演】
久我理亜（元ロータリー希望の風奨学生）
17:00 第2部
クラシックコンサート
田村彰子【声楽】（ロータリー財団学友）
音楽グループ「NADESHIKO」主宰
柴田晶子【口笛】
御礼ならびに収益金贈呈
問い合わせ先
ロータリー学友連絡小委員会
E-mail: rid2790.youthcomm@gmail.com